寒林小唱

三好達治

青空文庫

山雀の嘴(はし)をたたきし板びさし
はたやくだりし黄なる枯芝

裸木の朴(ほほ)のこずゑはゆれてあれ
その青空をとぶ雲もなし

鴉なく櫟ばやしのあらきみち
けうとかりけり陽はてれれども

さねさし相模の山よ來る小鳥
たかき空よりまひくだりけり

はらはらと空よりくだる小鳥あり
やがてかしこにしばなきにけり

この庭は鶺鴒(ひたき)のとりの一羽きて

あそぶ庭なりひるをひねもす

宵ながら怠りてふすかり臥しの
山のしじまのきはまりもなし

むらぎものこころいこはずいくとし月
すぎこしはてのこの疲れかも

おほよそは古きうれひも忘らへし
旅寝ごころや山の端に臥す

晝の間は鶺のとりのきてなきし
林のおくにわがひとり臥す

峡をゆく柝(たく)の音あはれ艸まくら
林の奥に臥すもあはれや

一山をゆるがしすぐる風のこゑ
しましはやがてひそまりにけり

風の日は鶲のとりも來てなかぬ
林の宿のおちゐなやあな

遠とほに大砲(おほづつ)の音すなりけり
鵯どりのむれものの實をはむ

夕陽落つ冬木のなかの朴の木に
鵙(もず)のしまらくゐてもだしたり

冬木立ひとまはりして周章と
啼きてさりける椋のとりはや

枯芝のかのふる椅子に今宵また
下りたちにける黒鶫(くろつぐみ)どり

夕庭に婆娑とくだりし鳥かげの
やがてひそけし塒とむらん

母ひとりはるばるとふるさとより僑居を
訪なひたまふ乃ち一日鎌倉に遊ぶ

母として長谷觀音のおみ足に
らふそく獻ず冬の日の暮れ

るしやな佛露座にておはすおん前に
腰くぐもれる母のあゆます

また一日さる出湯にて

ざんぎりの髪を洗はせたまふなり
ははそはのははの老いたまひけり

青空文庫情報

底本：「三好達治全集第一巻」筑摩書房
　1964（昭和39）年10月15日発行
底本の親本：「定本三好達治全詩集」筑摩書房
　1962（昭和37）年3月30日
※誤植を疑った箇所を、「三好達治全集第一巻」筑摩書房、1976（昭和51）年10月10日第2刷の表記にそって、あらためました。
入力：kompass
校正：杉浦鳥見
2019年11月24日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

寒林小唱

三好達治

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/